

フー・スタイルな 僧侶たちの フー・マガジン

2013/6・7
Vol.23
Japan
since 2009.8



Special

「タイ・チェンマイのお寺で、
瞑想体験してきました！」

ライター 山下敦子

Ayakaのヘルシー精進レシピ / 漫画「お坊さん日和。」
こちら僧医外来 / イベントインフォ"仏教体感" ETC

<http://freemonk.net>



タイ・チェンマイのお寺で、 瞑想体験してきました！ ライター 山下敦子

山下敦子（やましたあつこ）
1974年生。英語と大阪弁を話すフリーランスライター。人物インタビューやコネタ、旅、パラリンピック、体験レポートなど幅広いジャンルの記事をウェブや雑誌に執筆中。2012年「終活」をテーマに書いた落語台本で、上方落語協会佳作を受賞。たくさんの人の死生観を取材し、家族で前向きに「死」について話し合えるような本を作るのが夢。

お坊さんにとって、仏道修行は厳かに実践するもの。でも、最近の女性はこちらと違う。朝活として親しむ人、週末のリラクセスのために取り入れる人。仏教との距離感が縮まっているのはうれしいし、本人たちは真剣に取り組んでいるのだろうが、拍子抜けするのも確かだ。

フリーライターの山下敦子さんも、そのよ
うな仏教ファンの一人として弊誌制作に協力し
てくれているんだろう…と思っていたら、今年
2月、飛行機に乗って5日間の瞑想体験に旅
立っていった(汗)。うーん、瞑想って奥深い。
彼女はなにを感じてきたのだろう。

(編集部)

わたしが瞑想に興味を持ち始めたのはヨガが
きっかけ。先生の誘導する声に身を任せ目を閉じ
ると、心が落ち着き体が抜けて気持ちがいい。
「これが瞑想か」と家で実践すると思うように集中
できない…。瞑想すると集中力が上がりイライラ
しにくくなるというが、できないわたしのイライラ
はMAX(笑)。それから自分に合う瞑想法を探
したくて、知り合いの僧侶や瞑想実践者にコツを
聞いても瞑想に迷走する始末…。一体、瞑想って
何だろうか？そんな時に知った「世界各地から参加
者が引つ切りなしに訪れるという瞑想寺」の存在。
それならばと、3度の飯より体験取材好きなアラ
フォーライターが、いざタイ・チェンマイの寺へ行っ
てきました！

年間500人以上が訪れる

人気の瞑想コースを体験

友人に瞑想寺に行くと言うと「悩み事でもあるの？」という心配の声(笑)。中には「胡散臭い」と思う人もいるかもしれないが、チェンマイには英語で参加できる瞑想コースを開く寺がいくつもある。私が訪れた寺院は観光地としても有名な「ワット・プラタート・ドイ・ステープ」で多くの参拝者や観光客で賑わっている。仏塔は金ピカに輝ききらびやか…。それとは対照的に本堂から少し山を下りた場所に、ひっそりと瞑想道場や宿泊施設がたたずみ辺りは静寂に包まれている。与えられた個室にはパイプベッドと座布団があるだけ。部屋にカーテンはなく外から丸見え。特筆することもなくとっても地味…。そのギャップに動揺し、「5日間も耐えられるかな」と不安に襲われた。

年間500人が訪れるという参加者はヨーロッパや北米の人が多く、アジア人は1割を切り日本人は数える程度だそう。宿泊数は3日、5日、7日、14日、21日から選べ、わたしは3日にするか5日にするかで1週間も迷ったのに、瞑想初挑戦にも関わらず「何となく14日間に決めた」というアメリカ人男性のワイルドさにも驚いた。また、世界一周の途中で立ち寄ったドイツ人大学生は「面白そうだから」と軽いノリ。「瞑想の本質が知りたい」「仏教を学びたい」と色々な目的を持つ人たちが瞑想を学びにこの寺にやってくるが、人種や宗教の垣根を越えどんな人もウェルカムなのが嬉しい。



瞑想コースの運営は全て寄付で成り立つ



夜は蚊との戦い!



山中にひっそりとそびえ立つ宿泊施設



(左上) 献花の順番を待つ仲間たち (右上) この日は年に一度のブツダ・デイ
 (左下) 食事中も私語は厳禁… (中下) 朝・昼食は菜食料理で美味しい! (右下) 中には廊下で瞑想する人も

【二日のスケジュール】

- 5時 起床
- 5時半 説法 (1時間)
- 7時 朝食
- 11時 昼食
- 14時 面談
- 18時 口唱・詠唱 (1時間)
- 22時 就寝

このようなスケジュールはあるが何も強制されることはなく、部屋で自由に過ごしても問題はない。逆に言えば、「全ては自分の責任で行動する」という大人の試練が課せられる。空き時間は各自が道場や山中で瞑想する。わたしは厳しくされると反発し自由が与えられると素直に従う子どものように、逆に闘志がメラメラに。「毎日、10時間以上も瞑想すればその本質にたどり着けるかも」と興奮したのも束の間、雑念の波にのみ込まれた…。

【忘れちゃいけない5つのルール】

- 1、化粧をしない
- 2、音楽を聴かない
- 3、本を読まない
- 4、人と話さない
- 5、禁酒・禁煙

アラフォー女のスピリンも厳しいけれど、食

いしん坊のわたしに非常に辛いもう一つの決まりが、昼12時以降は飲み物以外を口にしてはいけないこと。翌朝まで19時間も食べられないと思うだけで、お腹がグーグー。「休つて正直！」などと感動している場合じゃない。実は、「お腹がすいて寝られなかったら大変や」と日本から大量に食品を忍ばせてきたダメ子ちゃんだったが、清々しい環境にすっかり感化され、「断食道場に来たと思って、アメ1個さえも口にしない！」と苦痛を減量への期待に変え、間食しないと腹をくくりに成功した(笑)。

瞑想に迷走する

ここでは一人の僧侶が終始、先生となって各自のペースに合わせて瞑想方法を指導してくれる。初日は座る瞑想10分・歩く瞑想10分を1セットとして繰り返すよう指示された。道場で聞こえてくるのは鳥のさえずりと木の葉を揺らす風の音。瞑想にはもつてこの環境にも関わらず、足を一歩前へと進めるたびに、「お腹がすいた」「顔がかゆい」「あの鳥の鳴き声は？」など、雑念の大合唱は止まない。

僧侶との個別面談の時間に「お腹もすくし雑念だらけで集中できないんです」と打ち明けると、「最初はみんなそうだけど、訓練す



(左)各自、タイマー持参で瞑想開始! (右上)本堂近くの派手で可愛い装飾 (右下)時に優しく時に厳しく見守ってくれた僧侶

れば自分の意識をコントロールできるように
なります」と優しく励まされる。「お腹がす
いた」という雑念が出てきたら、その事実
に意識を集中させ、自分の呼吸に意識を移す。
怒りや悲しみが出てきても、心を無理やり「無
」にするのではなく、しっかりと怒りを感じ雑
念の存在を認識させるのが、雑念を追い払う
コツだという。できない自分を「それでいい」
と認めることの大切さを教えられ、やる気を
取り戻し瞑想に励む。これぞ僧侶マジック!
面談後の参加者の表情はいつも晴れやかで、
僧侶の存在の大きさを痛感する日々だった。

心に沁みる僧侶の言葉

毎朝、楽しみにしていた僧侶の説法。『わた
したちは誰かの悪気ない発言に傷つき、その
言葉を長い間引きずりストレスを抱え生活す
るが、その発言をした人に罪はない。その思
いを手放すことができるのに、心に持ち続け
る自分に原因がある』。この話を聞いて、逆に
わたしが何気なく言った言葉が人を傷つける
こともあるだろうと深く反省。『人は不安や
孤独を感じ悩むが不安にさせる人や仕事、社
会があるから今のわたしが存在する。親や友
人、社会に向けて感謝しすべてを愛すること。
そうすれば問題が解決しやすくなる』。僧侶
の言葉は世間一般に言われていることなのかも

しれない。だが、仏教の教えを日常の出来事
に例えて、ひも解いていくその言葉が心に沁
みて、わたしの心は雨上がりの空のようにク
リアになった。

長期参加者(14日以上)の帰国後の感想は
「新たな自分の一面を発見できた」「集中でき
時間に無駄がなくなった」「怒らなくなった」
「瞑想と僧侶の話が自分の生きる指針になった」
など。わたしは相変わらず雑念まみれだけど
(笑)、何か嫌なことが起きても瞑想と同じ要
領で自分の意識を感じて手放せるようになっ
たと思う。

「瞑想」は神秘的、宗教的な側面を取り上
げられることがあるが、自分を見つめ精神面
を徐々に鍛えることができる一つの方法だと感
じた。過去や未来のことばかりを考えず、今
をしっかりと生きる―瞑想を通して学んだこと
は多い。この寺のように、日本でも子どもか
ら老人まで気軽に体験できるコースがあれば
いいなと思う。僧侶の最後の言葉『まずは自
分を大切にすること』を心に留め、いつか少
しは成長して14日間コースでこの寺に戻ってき
たい。それでも21日間を受ける度胸はつかな
いわたしの精神修行は、まだまだ続く…。

お坊さん日和。

ひよっ
たい2話
ころものまじり

まんが mitsuaki



こんにちは。
お坊さんの
みつあきです。

今日は仕事帰り
なのでスーツで
登場です。

え？

「お坊さんが
スーツで仕事をする
のは変じゃないか。」
……ですって？

確かに
お坊さん
と言えは

コレですね。
みなさんおなじみの
ころもの登場です。

お坊さんは和服のイメージが
強いと思います。
実際、法要などの儀式では
和服姿がほとんどです。

ですが、ときには
ちよつと変わった着かたを
することもあつたのですよ。

僕の宗派では
ご覧の様に
スーツの上から
ころもを着ます。

和洋折衷の不思議な姿です。
関係学校の式典では主に
この姿で出席しました。

「スーツを着ているならば
わざわざそのうえから
ころもを着る必要なんて
ないのではないか？」
なんておもしろいせんか？

ですが……
やはりそこには
しつかりとした
意味があるのです。

ころもはみかけを
「お坊さんらしく」
見せるための道具では
ありません。
ころも自体に意味が
あります。

ころもは教えそのもの。
ころもを着るといふ事は
仏教の教えをこの身に
たまわつていふ
という姿をあらわして
います。

みつあきくんも
□だけでなく
しつかりと教えを
大切に
中身のともなつた
お坊さん
なつてね。

あわわわわわ
頭張ります！

つづム。

里芋とポルチーニ茸、松の実のラビオリ

～ふんわり豆乳スチームミルクソース～

Ayaka のヘルシー精進レシピ



材料 (4人分)

ラビオリ / 薄力粉 200g 強力粉 20g 卵 2個
フィリング / 里芋 100g 松の実 大1
ポルチーニ茸(乾燥) 20g
ソース / 豆乳 200cc 塩 胡椒 オリーブオイル

作り方

- 1 粉と卵をすべて混ぜる。生地がまとまってきたら、軽く捏ねる。生地を二つに分け、丸めてラップをし冷蔵庫で2時間以上ねかせる。
- 2 ポルチーニ茸はあらかじめ水で戻して刻んでおく。戻し汁は捨てずに適宜水を加えた鍋で皮をむいた里芋を茹でる。水がほぼなくなるまで茹で、柔らかくなればマッシュしておく。
- 3 ポルチーニ茸をオリーブオイルで炒め、松の実を加え、さらに加熱する。里芋に加えて、塩胡椒で味を整える。
- 4 1の生地を同じ大きさに薄く伸ばし、片方にフィリングを乗せていく。もう片方の生地をかぶせて、包丁やパイカッターなどでカットし、ふちをとめておく。
- 5 温めた豆乳を塩胡椒で味を整え、スチーマーなどでふんわりさせる。
- 6 4のラビオリをゆがき、お皿に並べ、5のソースを回しかける。

こちら僧医外来

浄土宗西山禅林寺派光明院住職・田中医院院長
僧医 田中善紹



第6回。最期は家で看取りたいーその②ー

92才女性。認知症はありましたが、体はお元気でした。最近食事が入らなくなってきたとのことでご家族から往診の依頼です。いろいろ検査をしましたが、特別なことがおきていることはなさそうで、どうも老衰による経口摂取不良の状態のようです。入院して検査を受ける方法もあります、息子さんに提案はしましたが、「本人は入院してあちこち管をつけられるより、最期は家で過ごしたいと言っていました。このまま家で見てやりたいです」とのご希望です。ご本人も元気に通院されていた頃「家でコロッと死ねたら一番良い」といつも言っておられました。

点滴はせず口から入るだけの水分や食事を取っていただき、こちらは時々往診で状態確認をするだけです。約1か月たった夜に、ご家族の弁ではろうそくの火が消えるように苦しむこともなく亡くなりました。

何が原因であれ、自分が人生の終末を迎えるようになった時、どのような治療を受けたいか、また、受けたくないかの意思を元気に間に書面で残していくことをリビング・ウィル (Living Will) といいます。Living は生きている間、Will は意思のことです。胃瘻はしない、痛みをとる治療は優先的にして欲しい、人工呼吸器はつけないなど具体的に意思表示をしておくことで、自分が意思表示をできない状態になっ

た時に家族なり周囲の人や医師が治療の判断をする材料になり、文書と署名が必要です。その時自分を支えてくれるであろう方への感謝の気持ちも入れておきたいですね。

今回の法話会では、このような観点から実際のリビング・ウィルの書き方につきお話ししたいと思います。

光明院公開法話会

日時 平成 25 年 6 月 23 日 (日) 午後 2 時から
* 本堂で勤行の後、書院で法話会

会場 光明院書院
〒604-8336 京都市中京区三条大宮町 243

お話し 光明院住職・田中医院院長 僧医 田中善紹
僧医講座「リビング・ウィルとは一生前の意思表示」

参加費 1,000 円
* どなたでもご参加いただけます。
事前申し込み不要。

お問い合わせ
田中医院 075-822-3233 (平日午前中)
メール: zensyou@mbox.kyoto-inet.or.jp

「僧医外来」ホームページは
<http://web.kyoto-inet.or.jp/people/tanakazk/>


仏教聖典を 初歩英語で学ぶ会

- ・日本の文化の深さがわかる!
- ・観光案内にも使える!
- ・1回のみ参加でもOK!
- ・英会話のレッスンに!

日本語と簡単な英語を交えながら、
仏教を学んでみませんか?

- 【講師】ケネス・タナカ氏
【テーマ】「日本の仏教宗派」
【テキスト】
- ・『和英対照仏教聖典』（貸出も可）
 - ・『日本の仏教宗派』
 - ・『Buddhist Denominations and Schools in Japan』
- 【参加者】初級英語習得者（中級上級英語習得者及び外国人も大歓迎）
【定員】40名
【日程】6/27, 7/25
【時間】18:30~20:00
【場所】東京都港区芝 4-3-14
仏教伝道センタービル 8階
【会費】1回 500円

※事前申し込みが必要です。Facebook
からもお申し込みいただけます。

☞  "BDK Buddhism Through English"



忙しい女性のための坐禅会▲

【主催】



公益財団法人
仏教伝道協会
BUKKYO DENDO KYOKAI

東京都港区芝 4-3-14
http://www.bdk.or.jp
E-mail: bdk@bdk.or.jp
Tel: 03-3455-5877
Fax: 03-3798-2758



▲仏教聖典を初歩英語で学ぶ会

忙しい女性のための 坐禅会

静かな量の部屋で坐禅を通して疲れた
ところと頭の整理をしてみませんか?
女性に限定した坐禅会です。お一人
でも参加頂けます。

【講師】阿 純章 (おかじゅんしょう) 師
(天台宗)

【参加者】女性限定

【日程】6/11, 7/16, 9/10, 10/15, 11/12,
1/14, 2/4, 3/11
(8月, 12月は休み)

【時間】20:00 ~ 21:30
・法話 (お坊さんによるお話) 20分
・坐禅 40分
・茶話会 20分

【場所】東京都港区芝 4-3-14
仏教伝道センタービル 7階

【定員】30名
【会費】1回 500円

※詳しくは Facebook をご覧
ください。

☞  "BDK 坐禅会"

6/11
他

体験レポート

向 源



▲ 神社で仏教プラクティス

▼ 天台声明



「フェス」と言えば音楽フェスですが、「仏教のフェス」もあるのを
ご存知ですか?

初夏の気配ただよう 4月 29日。京急線・新馬場駅（東京都品川区）
の近隣 4つの寺社仏閣で開催された、仏教フェス「向源（こうげん）」
に行ってきました。

まず私が足を運んだのは、正徳寺。ここで「死の体験旅行」とい
うワークショップに参加しました。これはもともと、ホスピスの看護師
向けのワークで、ガン患者が死に至るまでの精神の苦しみを仮想体
験するもの。想像以上にツライ体験でしたが、自分の大切なものに
気づき、改めて生き方に思いを馳せることができました。

次に向かったのはお寺ではなく、なんと品川神社。ここで行われ
た「神社で仏教プラクティス」では、真言宗の阿字観、天台宗の坐禅、
浄土宗のお念仏を一挙に体験。しかもお精進弁当付きで、心も体も
整う仏教フルコースでした。

そして最後は常行寺へ。ご本尊の前での「お能・雅楽・天台声明」が、
「向源」の一日を幻想的に締めくくってくれました。

実は他にも「塗香づくり」や「経典をナナメから読む会」、「暗闇
ごはん」など魅力的なイベントは多数ありました。しかし参加できる
のは 3 つまで。選ぶのが一苦労なほど、胸おどる仏教体験がそろっ
た仏教フェス「向源」。来年も楽しみです！（いむらえりこ）

京都

アラサー僧侶とゆるーく話す会

アラサーの僧侶数名とフラットに話をする、ゆるーい会です。

話のテーマは、あなたの話したいこと。仕事や恋愛、家庭のことなど、普段の生活の中でモヤモヤしていることや、とにかく誰かに聞いてほしいこと等、何でも結構です。

もちろん、単純にお坊さんと話してみたいという方や、気になってることをお坊さんに質問してみたい方、ただただまったりした時間を過ごしたい方も歓迎です。

お茶とお菓子をいただきながら、お坊さんと一緒に考えてみませんか？ どなたでもご参加いただけます。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

日時:6月20日(木) 19:00~21:30

会場:フリースタイルな僧侶たちオフィス

京都市下京区河原町通五条下ル本塩竈町583-5
kawaramachi place 1002 号室

日時:7月27日(土) 14:00~16:30

会場:四条京町家 2F

京都市下京区四条通西洞院東入ル郭巨山町11

会費:1,000円(フリスタ会員は800円)

定員:10名

主催:フリースタイルな僧侶たち



※フリースタイルな僧侶たちホームページより、お申し込みください。

6/20
他

東京

開山忌・能楽奉納

梅窓院の開山祖、南龍和尚の御忌法要を行います。

開山上人へのご供養と報恩感謝の法要です。

また、法要後に能楽を奉納します。

なお、法要と能楽ともに一般の方も参列、鑑賞できます。

ともに費用はかかりませんので、

ご家族・お友達お誘い合わせの上お越し下さい。

日時:平成25年6月8日(土)

15:00~開山忌法要 / 2階 本堂

16:00~清興(能楽) / 地下2階 祖師堂

場所:梅窓院(ばいそういん)

東京都港区南青山 2-26-38

地下鉄銀座線「外苑前」駅下車、1b 出口より
徒歩1分

出演:観世流能 橋本忠樹(はしもとただき) ほか

演目:半能「半部」(はんのう「はじとみ」)

入場料:無料

※法要終了後、休憩をはさみ、能楽奉納となります。

※行程は変更になる場合があります。

※どなたさまもご参加いただけます。お申し込みの必要は
ございません。

※混雑が予想されますのでお車でのご来場はご遠慮下さい。

〈お問合せ〉

梅窓院 青山文化村

TEL:03-3404-8588 / FAX:03-3404-8436

E-Mail:bunkamura@baisouin.or.jp

URL:http://www.baisouin.or.jp/

6/8

Web

インターネット寺院「彼岸寺」で 「フリースタイルな経典談義」連載!

現代において経典を読む意味はあるのか?ありがたがるでもなく、否定するでもなく、聖典という枠にも縛られず、現代の日常的な感覚を大事にしつつ、自由に読んでみたい。結論はきつと出ないとおもいますが、「ストラ1980」の二人(池口龍法・辻村優英)が、悩み・苦しみながら経典談義を進めていきます。「経典をナナメから読む会」のエッセンスを2週間に1度配信。みなさまのご意見もお待ちいたしております。



彼岸寺連載『フリースタイルな経典談義』

URL:http://www.higan.net/freestyle/

隔週

京都

経典をナナメから読む会 ~仏教は失恋に効くのか!?~

「失恋したときにお釈迦様ならどんな言葉をかけてくれたらう」というスタッフ 辻村優英(当時失恋中)の素朴な問いかけから始まったのが、「経典をナナメから読む会」。

この勉強会では、人間の永遠のテーマである「失恋」をはじめ、参加者それぞれの日々の悩みに向き合いつつ、経典の言葉をひもといていきます。

※各回のテキストはこちらでも準備いたしますが、予習されたい方はお買い求めください。

第14回 平成25年6月8日(土) 19時~21時

テキスト:『ブッダ 悪魔との対話—サンユッタ・ニカーヤ2』
(岩波文庫)

第15回 平成25年7月13日(土) 19時~21時

テキスト:『大乘仏典(9)宝積部経典』(中公文庫)

会場:フリースタイルな僧侶たち オフィス

京都市下京区河原町通五条下ル本塩竈町583-5
kawaramachi place 1002号室

会費:1,500円(フリスタ会員は1,300円)

※うち1,000円は震災復興支援のため寄付いたします。

定員:10名



フリースタイルな僧侶たちホームページ
よりお申し込みください!

6/8
他

編集後記

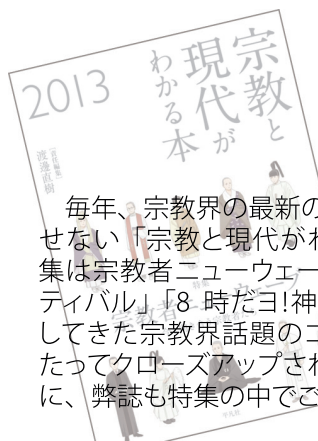
「日本仏教の未来に挑戦する情報誌」と銘打ちながら、タイのチェンマイでの瞑想修行をクローズアップしたことに、違和感をおぼえた人もいるかもしれない。

寄稿してくれたライターの下山さんは、どこにでもいそうなお喋り好きなアラフォー女性である。彼女とメールしていたら、「チェンマイでは瞑想寺に5日間滞在し、プチ修行なるものに挑戦する予定です」となにげない感じで書いてきた。「アラフォー女性」と「瞑想体験」って意外にも関連ワードなんだろうか、と気になった。ぜひ、彼女の体験を綴って欲しいと思った。

加えていえば、彼女が瞑想を試してみたいと思ったときに門戸を開いていた（少なくとも彼女の目にはそう映った）のが、日本ではなくタイのお寺だったということを、私たちは重たい事実として受け止めている。オウム真理教の元信者が「お寺は風景に過ぎなかった」と言い放ったことと、コンテクストは同じではないか。日本仏教の未来への挑戦は、始まったばかりだ。

フリースタイルな僧侶たち 編集部

BOOK REVIEW



毎年、宗教界の最新の動向をチェックするために欠かせない「宗教と現代がわかる本」シリーズ。今年の特集は宗教者ニューウェーブ。「彼岸寺」「いのり☆フェスティバル」「8 時だヨ! 神さま仏さま」など、弊誌に掲載してきた宗教界話題のコンテンツが約 70 ページにわたってクローズアップされています。そして、嬉しいことに、弊誌も特集の中でご紹介いただいています!

弊誌を創刊してから 4 年近くが経ちますが、この間を振り返ってみると、宗教界は年々賑やかさを増してきています。ニューウェーブが到来しているといってい良いでしょう。無縁社会・格差社会に対応しようと取り組む宗教者。新しいメディアを使って情報発信力を強めている宗教者。私たちの社会は、果たしてどこへ向かっているのでしょうか。本書を片手に、未来の社会の形を少し考えてみてはいかがでしょうか?



『宗教と現代がわかる本 2013』
渡邊直樹(編集)、平凡社、2013年
1,680円(税込)



読者のみなさまからのお便りを紹介!

フリスタではみなさまのお便りを募集、紹介しています。今回はメールで届いたお便りからのご紹介です。

「仏教は失恋の苦しみを癒すのか」、おもしろいですね。特に恋愛に対して興味がわいてくる思春期の子どもたち向けに、宗教者から何らかのアクションがあってもいいんじゃないかなと思いました。アホっぽいと思われるかもしれませんが、失恋だって今を生きる人の大きな苦しみのひとつです。

このテーマで辻村さんが著書を執筆してくれることを期待しています(笑)

菩薩のたとえ話もいいですね。今号はもっと長文にしてほしいかったというのが本音です。(H・Sさん・30代男性・千葉県)

誌面に関するご意見、ご感想もお待ちしております。お気軽にお便りください。応募は郵送、FAX、電子メール、また Web サイトでも受け付けます。ご応募お待ちしております。

あて先:

フリースタイルな僧侶たち 編集部

〒600-8119

京都市下京区河原町通五条下ル本塩竈町 583-5

kawaramachi place 1002 号室

FAX: 075-777-9579 Email: info@freemonk.net



フリースタイルな僧侶たちのフリーマガジンとは

あなたは「お葬式＝仏教」だと思いませんか?しかし、実際には、様々なかたちで自利・利他に励む僧侶がいます。日本仏教のリアルな姿をまずは正しく知って欲しいと願います。

私たちは本誌フリーマガジンを発行(年間6回・偶数月1日発行)して街中のカフェやバーなどで配布するほか、仏教を実際に体感できるイベントや法会も随時開催し、日本仏教のあり方をフリースタイルに見つめ直していきます。

志を同じくする僧侶や誌面作りやイベント実施に協力していただけるボランティアスタッフも随時募集しています。

サポーターズ・クラブ会員募集中!!

私たちの活動に共感し、応援していただける方を大募集中!!

協賛年会費 5千円(個人)/3万円(法人)

※サポーターズ・クラブの皆様には、年間6回発行予定の本誌をお届けします。また各種主催イベントにおいて優待いたします。

※法人会員の方々は、誌面にお名前を掲載させていただきます。

会費振込先:三井住友銀行 園田支店(422) 普通 5092943
フリースタイルな僧侶たち 代表 池口 龍夫

※お振込みいただく際には、あらかじめご連絡ください。

お問い合わせ先

TEL: 075-555-5730 FAX: 075-777-9579

Email: info@freemonk.net

協賛のご報告

本誌発行にあたり、ご支援いただいた皆様には厚く御礼を申し上げます。以下に、法人サポーターの方々のお名前のみ掲載させていただきます。

- 安心院 (京都府八幡市・浄土宗)
- 安樂寺 (京都府南丹市・浄土宗)
- 石尾山弘法寺 (大阪府和泉市・真言宗)
- 延命寺 (大阪府堺市・浄土宗)
- 圓融寺 (東京都目黒区・天台宗)
- 九品寺 (京都府京都市南区・浄土宗)
- 慶蔵院 (三重県伊勢市・浄土宗)
- 光照院 (東京都台東区・浄土宗)
- 光徳寺 (大阪府大阪市東淀川区・浄土真宗本願寺派)
- 光徳寺 (福岡県みやま市・浄土真宗本願寺派)
- 光明院・田中医院 (京都府京都市中京区・浄土宗西山禅林寺派)
- 光明寺 (奈良県吉野郡・浄土真宗本願寺派)
- 金剛寺 (京都府京都市東山区・浄土宗)
- 西明寺 (兵庫県尼崎市・浄土宗)
- 茶坊えにし (東京都台東区)
- 浄栄寺 (滋賀県東近江市・浄土宗)
- 浄元寺 (兵庫県尼崎市・浄土真宗本願寺派)
- 性高院 (愛知県名古屋市中区・浄土宗)
- 常楽寺 (新潟県岩船郡・曹洞宗)
- 正善寺 (兵庫県伊丹市・浄土宗)
- 正法寺 (京都府京都市東山区・時宗)
- 勝楽寺 (東京都町田市・浄土宗)
- 信覚寺 (福岡県朝倉郡・浄土真宗本願寺派)
- 瑞聖寺 (東京都港区)
- 崇福寺 (滋賀県甲賀市・浄土宗)
- 正蓮寺 (静岡県伊豆の国・真宗大谷派)
- 大圓寺 (東京都目黒区・天台宗)
- 臺鏡寺 (大阪府枚方市・浄土宗)
- 檀王法林寺 (京都府京都市左京区・浄土宗)
- 潮音寺 (東京都大島町・浄土宗)
- 長壽院 (東京都台東区・浄土宗)
- 梅窓院 (東京都港区・浄土宗)
- 法岸寺 (静岡県静岡市・浄土宗)
- 宝華山廣護寺 (岐阜県瑞穂市・浄土真宗本願寺派)
- 寶松院 (東京都港区・浄土宗)
- 宝泉寺 (愛知県津島市・浄土宗西山禅林寺派)
- 法善寺 (大阪府大阪市・浄土宗)
- 法然院 (京都府京都市左京区)
- 寶満寺 (千葉県銚子市・浄土真宗本願寺派)
- 法華寺 (京都府亀岡市・日蓮宗)
- 本覺寺 (神奈川県横浜市・天台宗)
- 無量光寺 (鳥取県鳥取市・浄土宗)
- 薬師院 (大阪府岸和田市・真言宗)
- 龍岸寺 (京都府京都市下京区・浄土宗)
- 一般社団法人 日本石材産業協会 (東京都千代田区)
- 遠藤新兵衛商店 (京都府京都市下京区)
- 株式会社 アールアンドダブリュー (京都府京都市中京区)
- 株式会社 京美仏像 (京都府京都市北区)
- 株式会社 菓寿堂 (兵庫県神戸市)
- 株式会社 寺の友社 (京都府宇治市)
- 京都坊主BAR (京都府京都市中京区)
- 寺院コム (京都府京都市左京区)
- 浜屋 株式会社 (兵庫県姫路市)
- ヨシダ印刷株式会社 京滋営業所 (京都府京都市下京区)

※ 五十音順に表示しています。
 ※ 協賛は随時受け付けています。

広告募集中!!

本誌「フリースタイルな僧侶たちのフリーマガジン」
 に広告を出しませんか?

本誌は関西の寺院や仏具店をはじめ、カフェやスイーツ料理店まで、様々な場所に設置しています。設置箇所は現在も拡大中 (ホームページで確認できます)!
 興味をもたれた方は一度、お問い合わせください。

《媒体情報》

仕様: A4 サイズ・12 頁・カラー
 発行部数: 10,000 部 (2013 年 6 月現在)

築90年の京町屋で本格タイ料理

佛沙羅館

Tel:075-361-4535

定休日 水曜日

営業時間:11:30~14:00/17:00~22:00

<http://r.gnavi.co.jp/k024400/>

住所:京都府京都市下京区木屋町通松原上ル美濃屋町173-1





Mama's
**浜屋は
 関西最大級の
 お仏壇・お仏具・
 墓石の専門店です。**

浜屋は個人情報保護の企業を示す
 プライバシーマーク取得企業
 です。

やすらぎの世界を創る



お仏事・お仏壇・お仏具・お墓・ギフトのご相談は
 通話料無料 浜屋姫路本社フリーダイヤル
0120-1616-94
 ●受付時間/午前10時から午後7時まで

製造直売・関西最大級、30店舗の安心ネットワーク。お近くの浜屋へ来店下さい。

- | | |
|----------------------------------|--------------------------------|
| ■奈良王寺店 / 大和・王寺町 ☎(0745)31-2211代 | ■西宮店 / 171線・大市 ☎(0798)51-2211代 |
| ■奈良生駒店 / 近鉄・生駒駅北 ☎(0743)83-2211代 | ■芦屋店 / JR・山側西 ☎(0797)35-1194代 |
| ■岸和田店 / 2国・西之内 ☎(072)445-2211代 | ■三田店 / 三田・刈中町 ☎(079)569-2211代 |
| ■界鳳店 / 第2・阪和沿 ☎(072)261-2211代 | ■神戸本店 / 元町・4丁目 ☎(078)371-2211代 |
| ■藤井寺店 / 近鉄・藤井寺 ☎(072)954-2211代 | ■新長田店 / JR・新長田 ☎(078)621-2211代 |
| ■駒川店 / 中野・交差点 ☎(06)6709-2211代 | ■明石店 / 森友・交差点 ☎(078)927-2211代 |
| ■中環東大阪店 / 近鉄・西岩田 ☎(06)6783-2211代 | ■加古川店 / JR・駅南側 ☎(079)426-2211代 |
| ■環屋川本店 / 石津・交差点 ☎(072)829-2211代 | ■高砂店 / 明姫幹線・中島 ☎(079)443-2211代 |
| ■坂方家真地店 / 長尾・家真町 ☎(072)836-2211代 | ■姫路本店 / 駅前・御幸通 ☎(079)282-2211代 |
| ■高槻店 / 高槻・樹屋町 ☎(072)683-2211代 | ■福崎店 / 福崎町・夜塩北 ☎(0790)22-2211代 |
| ■淡木店 / 淡木・大手町 ☎(072)622-2211代 | ■網干店 / 網干・浜国沿 ☎(079)622-2211代 |
| ■豊中店 / 豊中・郵便局横 ☎(06)6848-2211代 | ■龍野店 / 龍野・大橋東 ☎(0791)62-2235代 |
| ■川西店 / 川西・火打2 ☎(072)759-2201代 | ■赤穂店 / 赤穂・塩屋東 ☎(0791)45-2211代 |
| ■伊丹店 / 阪急・駅前西 ☎(072)775-2211代 | ■山崎店 / 穴栗・山崎町 ☎(0790)62-5171代 |
| ■尼崎店 / 阪神・駅南側 ☎(06)6413-2211代 | ■浜屋漆工芸館姫路・土山町 ☎(079)293-2211代 |

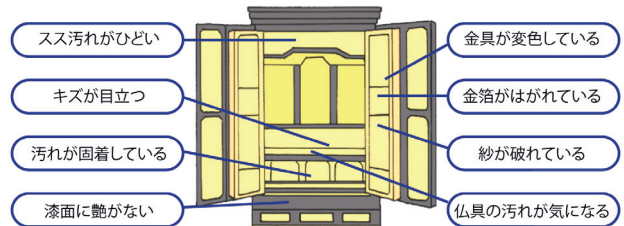
■本社/姫路市南畝町2丁目31番地 TEL.079-288-2211(代)

お仏壇泡洗浄専門店

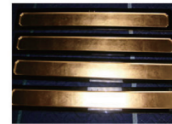
京都北白川 **一步堂** IppoDou



お仏壇を美しくするのは、ご先祖さま大切な亡き方への感謝の心です。
 お宅さまのお仏壇、汚れてないか今一度見直してみませんか？



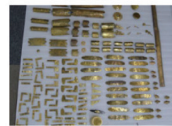
<泡洗浄>



<金箔泡洗浄>



<金箔補修>



<金具洗浄>



<扉修復>



<外扉磨き>

安価で仏壇仏具の修復のプロが昔の輝きに修復いたします

お仏壇の特許泡洗浄(株)メイクリーンお仏壇本舗加盟店

京都北白川 **一步堂**

☎フリーコール 0120-929-666

詳しくは… | 京都 仏壇 一步堂 | で検索!



公益財団法人 浄土宗ともいき財団

心といのちの電話相談室

☎ **03-3436-6823**

相談受付: 毎週月曜日 10:00~16:00

(国民休暇、盆、年末年始は休業いたします)

あなたを支えたいと願う人がいます。つらいお気持ち、おはなしてください。

『心といのちの電話相談室』の特徴

研修を受けたお坊さん、
お寺の奥さんがお話を伺います

多彩なご相談に対応します

周囲の方もご相談ください

『心といのちの電話相談室』の約束

秘密は必ず守ります

勧誘はしません

無料で受け付けます

『心といのちの電話相談室』事務局

〒105-0011 東京都港区芝公園4-7-4 公益財団法人浄土宗ともいき財団内
 TEL.03-3436-3353 FAX.03-5472-4878 ホームページ: <http://tomoiki.jp>

詳しくは

心といのちの電話相談室

検索



フリースタイルな僧侶たちのフリーマガジン

平成25年 6月1日発行 第23号

発行元 フリースタイルな僧侶たち 編集部

〒600-8119

京都府京都市河原町通五条下ル本塩竈町 583-5
 kawaramachi place 1002 号室

tel: 075-555-5730

fax: 075-777-9579

e-mail: info@freemonk.net

<http://freemonk.net>

※ 本誌のコンテンツを無断で転載することを固く禁じます。

題字

しらたきなべお

アートディレクション&DTP

bdt 若林唯人

輪番編集長

山下敦子

総指揮

池口龍法